

胆振東部地震
我が家はどうだったのか。
その後どうしたのか。

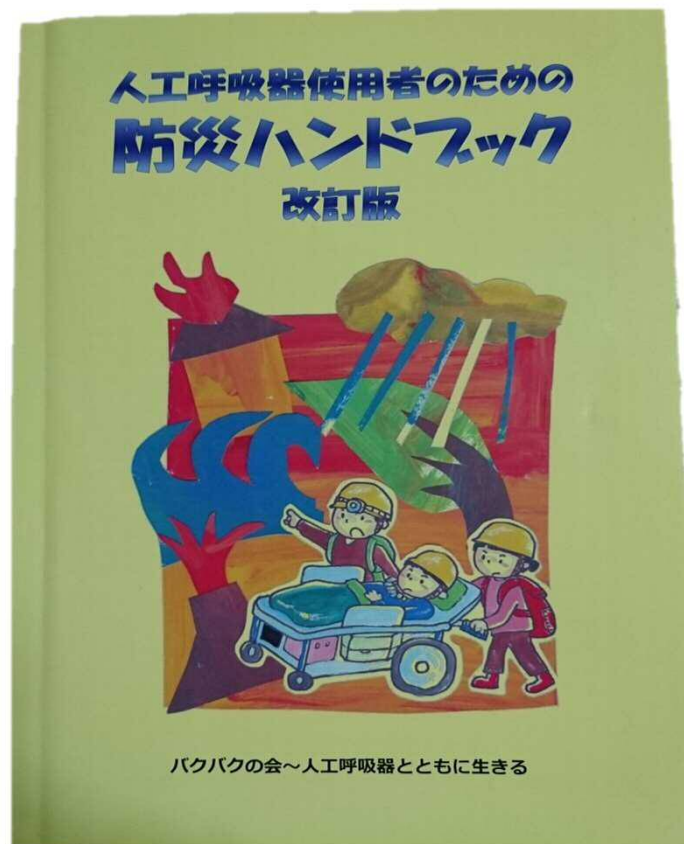
バクバクの会
～人工呼吸器とともに生きる～

北海道支部幹事
清水 寛子

バクバクの会とは...

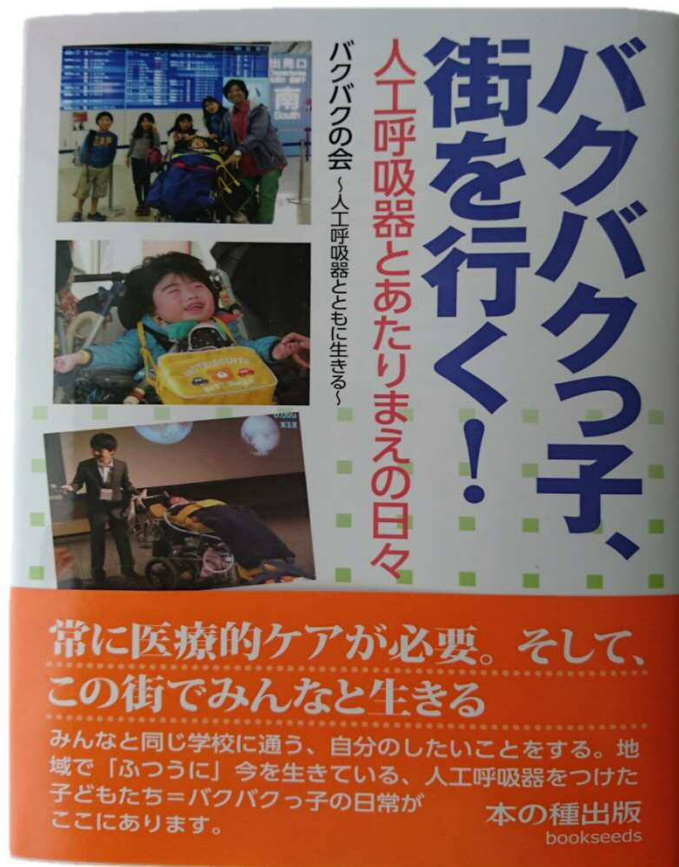
- ◆1989年5月、長期に渡り人工呼吸器をつけている子供たちの安全で快適な入院生活と生きる喜びを願い、大阪の淀川キリスト病院の院内家族の会として発足。
- ◆翌年、人工呼吸器をつけていてもどんな障害があっても、ひとりの人間ひとりの子どもとして社会の中で当たり前生きるためのより良い環境づくりをめざし、全国組織として始動。
- ◆2019年1月現在、全国15支部、約500名の会員がおり、力を合わせて活動しています。

関連書籍



- 「人工呼吸器使用者のための防災ハンドブック・改訂版」
- 2017年10月10日発行
- 定価 2,800円(税込み)
- 「東日本大震災における実態調査」など、会員の体験談も満載。
- 人工呼吸器使用者だけではなく、介護を必要としている方や周囲の方々、皆さんに活用して頂ける内容です。日常のケアにもきっと役立ちます。

関連書籍



自己紹介

- 4人家族2児の母親です。(兄、小6。弟小2。)
- 弟の公介出産時に、胎盤が7割剥がれる胎盤早期剥離の出産事故にあい、母子ともに意識不明の重体になり別々の病院へ緊急搬送。一命をとりとめるも公介は低酸素脳症により24時間人工呼吸器使用となる。
- 生後11か月の時に在宅生活開始。
- 現在、私は、公介の小学校への付き添いをしながら、日本福祉大学通信教育学部の1年生をしています。



避難の時に病院へ持って行った機材や荷物



機材の重さと消費電力の目安

重さ		消費電力
● 人工呼吸器	5. 5kg	210w
● 吸引機一式	5. 5kg	150w
● 加温加湿器	2kg	230w
● カフアシスト	5kg	100～240w
● 吸入器	2. 3kg	98～115w
● 栄養ポンプ	1kg	10w
● 在宅酸素濃縮器	12. 5kg	250w

札幌市長
秋元克広様

2019年4月17日

記

バクバクの会～人工呼吸器とともに生きる～
北海道支部 幹事 清水 寛子
ベンチレーター使用者ネットワーク (J.V.U.N)
代表 佐藤 きみよ

要望書

～医療機器使用者の災害時における対応について～

昨年9月6日に発生した、北海道胆振東部地震では震度7を記録し、死者41人となる大きな地震となりました。苫東厚真発電所の停止により、北海道全域でブラックアウトとなり、札幌市では在宅酸素を使用していた80代の男性が、酸素ボンベに切り替えようとしている最中に意識を失いそのまま亡くなりました。

在宅で医療機器を使用している者にとって、停電は死に直結します。今現在札幌市では在宅で人工呼吸器を使用して生活している人は約170人おり、そのうち、24時間使用している人は約60人になります。

9月の地震発生時の停電では、24時間人工呼吸器を使用している人は、ほとんど病院へ避難しました。しかし、夜間のみ使用しているなど24時間使用者以外の方達は病院への受け入れが出来ず、信号が動いていない危険な交通状態の中、日中に病院へ来て人工呼吸器を充電させてもらい家に帰る、もしくは自宅の車で人工呼吸器を充電し、命を繋いでおりました。

停電でガソリンスタンドも長蛇の列ができ、また給油量の制限があり、「遠くのかかりつけ病院まで充電には行けなくなるかもしれない」「自家用車のガソリンが無くなったら充電出来ない。どうしよう。」等、普段の生活がままならない上に、命の危険が差し迫るという大変緊迫した日々を過ごしました。

北海道の厳寒の冬の季節ではなかった事だけが不幸中の幸いだったように感じます。

札幌市におきましても地域防災計画がつくられてはおりますが、福祉避難所の公表など、改善すべき課題が多々有ると実感しました。当事者としての自助努力にも取り組んで行く事はもちろんですが、地震に限らず、昨年の西日本豪雨に見られるように、局地的な豪雨による水害等、いづどこで災害が発生してもおかしくない状態です。札幌でも過去に昭和50(1975)年、昭和56(1981)年の二度の洪水被害があります。また、平成28(2016)年8月の北海道豪雨災害や、平成30(2018)年7月豪雨は西日本で甚大な被害がありました。道内に於いても堤防の決壊や内水氾濫が起きたことは記憶に新たです。

以上の事から以下の事を要望致します。

一、医療機器使用者優先の充電スポットの設置

今回の地震だけではなく、水害や地盤沈下等により病院自体が被災し、病院へ避難出来ない場合も想定されます。停電時に医療機器を充電できる場所を、各区に最低一か所は設けてください。

二、避難所の周知と環境整備

今回の地震では、以前から避難所を調べていたので、だいぶ時間が経ってから行ったのに開設されていませんでした。また、避難所に行ったのに発電機が無く、充電は一切出来ない避難所だった等の事例がありました。

医療機器ユーザーが優先的に利用させてもらえる発電機を備えた一時避難所の公表と、医療機器は人工呼吸器に限らず、吸引機やネブライザー、カフアシスト、栄養ポンプ、サチュレーションモニター、ミキサー食用のミキサー等もあり、ブザー音や機械音があり、周りの方にとっても気を遣う事もあるため、仕切りや別室対応など作動音等で気を遣わなくてもいい環境整備と、福祉避難所を速やかに公表してください。

三、自家発電機の補助

今年、東京都八王子市では在宅人工呼吸器使用者に自家発電機の提供がありました。札幌市でも在宅人工呼吸器使用者等への自家発電機の補助や提供等を検討してください。

四、ポータブル蓄電池と正弦波インバーターの助成

東日本大震災を受け、在宅人工呼吸器使用者には現在、人工呼吸器の予備バッテリー1人につき1個が国から支給されています。が、人工呼吸器が動いていればいいという訳ではありません。

痰がもともと固い人の場合、加温加湿器で人工呼吸器の空気を調整しなければ痰が固まり、気道や肺の中で詰まり窒息の危険があります。体温調節が出来ない人は電気毛布が使えなくなると低体温症を引き起こす危険があります。人工呼吸器使用者にとって、常日頃から移動時の電源確保は必須条件です。

大阪府ではポータブル蓄電池と正弦波インバーター（正弦波以外のインバーターでは、機器類の電子回路が誤作動を起こす。）は補助の対象となっており、1割負担となっております。札幌市でも早急に検討してください。

以上

2019年6月 日

札幌市長
秋元 克広 様

バクバクの会～人工呼吸器とともに生きる～
北海道支部 幹事 清水 寛子

1、「医療機器使用者の災害時における対応について」への回答について

「医療機器使用者の災害時における対応について」早速のご回答をいただき、ありがとうございます。

「在宅酸素療法患者、在宅人工呼吸器使用者等の災害時の電源確保に関するアンケート調査」についてですが、調査対象者が「呼吸器機能障害」の身体障がい手帳を所持する方のみですと、調査結果に差異が生じます。

人工呼吸器を使用している多くの子どもは肢体不自由で手帳を取得している場合が多く、実際、私の息子も産まれた時から24時間人工呼吸器を使用していますが、身体障害者手帳の障害名は「低酸素性脳症による両上下肢機能の全廃（上肢1級・下肢1級）、（体幹機能障害1級）」となっており、呼吸器機能障害では取得していません。

「呼吸器機能障害」だけでは調査対象者に漏れがあります。

対象者に漏れが出ないようにご検討ください。また、支援から漏れる人工呼吸器使用者が出ないように対象者を正確に把握する手段をご検討ください。

2、「令和元年度補正予算案」への、在宅人工呼吸器等使用者への非常用電源の購入費用の助成について

「令和元年度補正予算案」への、在宅人工呼吸器等使用者への非常用電源の購入費用の助成を加えて頂き、ありがとうございます。

お聞きしましたところ、非常用電源とは、自家発電機のみが対象であるとのことでした。

緊急時の電源確保に自家発電機は有用ではありますが、自家発電機に使用する燃料（ガソリン、JPGガス、カセットボンベ）の備蓄が個人では難しく、また、使用時は排気ガス（CO₂）を排出するため一酸化中毒などを引き起こす危険性があり、一般家庭での使用には問題があります。北海道地震でも発電機使用により死亡したケースがありました。※下記、日経新聞参照

※自宅が発電機、男性2人がCO中毒死 停電影響か 2018/9/7 23:27

北海道警は7日、閉め切った自宅の室内で、ガソリン式の小型発電機を使っていた道内の男性2人が、一酸化炭素（CO）中毒で死亡したと発表した。地震による停電で発電機を使った可能性

人が、一酸化炭素（CO）中毒で死亡したと発表した。地震による停電で発電機を使った可能性があり、道警は十分な換気を呼び掛けている。

道警によると、男性2人は標津町の40代の会社員と、上富良野町の70代の自営業。いずれも一人暮らしで、発電機を玄関付近で使っており、7日朝に室内で倒れているのを親族や同僚が見つけた。両町では地震による停電が続いていた。〔共同〕

このようなことを踏まえ、在宅人工呼吸器等使用者への非常用電源購入費用助成は、自家発電機だけではなく、もっとも安全に簡易に使用できる、ポータブル蓄電池と正弦波インバーター等も補助の対象としていただくようお願いいたします。

これらの機器は、移動時の電源確保としてもすぐれており、移動しながらでも人工呼吸器、加温加湿器、パルスオキシメーター、吸引器、体温調整のための電気毛布等を使用することも可能です。これまでの経験から、自家発電機よりも、安心安全に使用できるもっとも理にかなった機器であり、当会としましては、これらの機器の使用を推奨しています。

以上の点をふまえ、ポータブル蓄電池と正弦波インバーター等も補助の対象としていただくようご検討をお願いいたします。

以上

まとめ

- 大災害時は病院もどうなるか分からない。
- 地域で生きることは、防災へと繋がる。
- 災害時の対応や、備えを今一度確認。